

日本 MAB 計画委員会拡大懇談会 議事要旨案

日時：3月17日水曜日 13-15時

場所：東京大学駒場校舎15号館1階104教室

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02_01_14_j.html

参加者：鈴木†*・大澤†*・堀†・伊藤†・松田†*・酒井*（†国内委員会・*計画委員）；浅井・岩下・羽井佐；比嘉（横国大事務局）；安田（UNU）・韓群力（UNESCO）・洪善基（木浦大）

議題

1. COP10 サイドイベントについて
2. その他
 - 1) 生態学会大会企画シンポジウム
 - 2) UNESCO および MAB と Satoyama Initiative の連携を期待する国外の声

1. COP10 サイドイベント構成案 13:15-

Request ID 1753（外務省から提出）

Event title UNESCO's Man and Biosphere (MAB) Program, Education for Sustainable Development, and Japanese activities.

Event Description We will discuss MAB activities in Japan and the world including Education for Sustainable development, and the relationship with “sustainable use of ecosystem services” (tentative), in collaboration with the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology and the Japanese Ministry of Environment, and United Nations University and Others.

PREFERRED DATE AND TIME：(第一希望から)10/26, 27, 28（いずれも 13:15-）

液晶プロジェクタ、PC、同時通訳（有料）を希望

政府登録と一般公募では屋外の場合、サイドイベントの場所が異なる

政府登録の場合、白鳥地区の大きなテントを張った会場を使用できる

その際の場所の使用料はいまのところかからない見込みです。

その他細かい機材等の使用料については、これから詳細が決まる

なお、展示ブースについては政府でも出展料がかかる

サイドイベントプログラム案について議論した。パネル討論の議題は「生物多様性の保全と持続可能な利用の調和に向けて」などとする。その場で BR 推進の決議案をあげることを計画委員会で検討する。

予算を取って日英同時通訳とする。

その他の PR 方法について議論した。そのための配布物（パンフレットやチラシ）などを作成する。配布物は UNESCO が用意したもの（愛知万博向けの DVD 放映を含む）、日本の MAB/BR の Atlas、新たに日本の取組みを伝えるパンフレットを計画委員会で準備することを検討する（InfoMAB の次号を兼ねることも考えられる）

2. その他

1) 日本生態学会大会 企画シンポジウム S13 について報告があつた。

<http://risk.kan.ynu.ac.jp/GCOE/100317ESJ.html>

シンポジウム S13 -- 3月17日 9:00-12:00 J会場

利用と保全の調和を図る国際制度としてのユネスコ MAB

(人間と生物圏) 計画：日本の環境保全戦略への活用

企画者：酒井暁子, 松田裕之 約130名の参加

130名以上の参加で大成功。

2) UNESCO および MAB と Satoyama Initiative の連携を期待する国外の声が紹介された。

